

追加補正予算などの対応をとる党市議団が緊急要請

住宅リフォーム促進事業、わずか2日間で一般受付分は満杯

驚きました。日本共産党市議団の上野議員の一般質問などで昨年末に実現した上越市の住宅リフォーム促進事業が大人気です。市は今年度一般会計予算に1億円（このうち、一般受付分枠が8000万円、長野県北部地震被災住宅分枠は2000万円）を計上し、9日から受付を開始しましたが、市民の関心が高く、一般受付分は申請受け付け開始からわずか2日間で満額に達したのです。市の担当課によると、一般受付分の2日間の申請件数は約850件で、一般受付分枠8000万円に達したとのことでした。

このことが新聞などで報道されたことで、何人も市民の方から、「これから出そうと思っ
ていました。ほんとうに受付はこれで終わりな
んでしょうか。リフォーム助成、何とかなりま
せんか」などといった電話が相次いで党市議団
に寄せられました。

党市議団では12日、こうした事態にどう対
応するかを話し合い、市長に住宅リフォーム促
進事業の追加と予算確保などを緊急要請しまし
た。要請については、文書を作成し、お昼前に
小林総明都市整備部長を通じて提出しました。
主な要請内容は次の通りです。

- ◎ 住宅リフォーム促進事業をさらにすすめる
ため、早急に補正予算措置等必要な手だてを講
じること。
- ◎ 地震による一部損壊住宅に係るリフォーム
分については、対象工事の補助限度額を少なく
とも20万円に引き上げること。また、申請前
の工事着手であつても、地震発生後まで遡及し
て対応すること。
- ◎ 災害に伴う住宅の再建・補修等についての
市独自の支援策を検討すること。

再び、安塚・大島区へ

党市議団は11日、安塚区、大
島区に入り、地震や融雪に伴
う災害の調査をしてきまし
た。調査には市議団のメン
バーだけでなく、地学団体研
究会のSさんにも同行して
もらいました。

安塚区では、林道坊金高山
線の崩落現場、信濃坂地内の
田んぼの沈下個所を見てきま
した。Sさんの説明による
と、崩落した場所の地層は地
滑り地帯特有のもので、かつ
て地滑りを起こしたところが



シリーズ 上越市内の橋

第64回 新堀橋

「新堀橋」と書いて「しんぼりばし」と読みま
す。湯川の排水のため、江戸後期に開削された新堀
川にかかっています。

新堀川は最初、1757年（宝暦7年）に開削し
ましたが、長雨で砂が崩れ使えなくなりまし
た。その後、1835年（天保6年）に再開削されたとの
ことです。橋は大潟区犀潟地内にあります。



橋の写真を撮る

ため川の土手まで
降りたら、横から
見た橋は素敵なデ
ザインなのでびっ
くりしました。近
くの原野ではい
ま、ハマダイコン
の花がたくさん咲
いています。

橋長は約21メー
トル。1941年
（昭和16年9月）
竣工です。

再び崩れた可能性が高いことでした。林
道の上の方へ行くと、耕作放棄地があり、そこ
の先端部分では崩れが始まっています。ここ
が落ちると被害はさらにひどくなりそうです。

大島区の調査は先月末以来です。残雪が多く
て確認できなかった農業用水路、農道などがど
うなっているかを見てきました。上の写真は前
回調査の時にも紹介した場所です。やはり、大
きく割れていました。農業用水路も小規模なが
らあちこちで壊れています。いまのところ、
応急措置がとられています。強い雨が降った
時にどうなるか心配です。

すでに田植えもはじまっていますので、早急
に仮復旧などの措置をとり、農家の不安を解消
していただきたいものです。

春よ来い 第一五三回 ニリンソウ

この間の日曜日の朝、「あーあ、電車に乗って旅に出たい」そう言ったら、妻が反応して「よし、行こう、行こう」。私たち夫婦の旅行はこんな調子で決まります。パソコンで電車の時間などを調べ、この日は信越本線に乗って出かけてきました。旅行といっても一日だけの日帰り旅行です。金があまりかからなくて、好きなことができ、ゆつくりと過ごせる。これが満たされれば、どこでもいいのです。この日は長野市まで行ってきました。

柿崎駅の構内で電車を待っていると、まもなく柏崎方面から電車がやってきました。旅に出ると決めた時はおもしろいもので、入ってくる電車の賑やかなブレーキの音を聞いただけでうれしくなります。

電車に乗ってからは、お尻に感ずる揺れと連結器の音もいい。私はカバンの中からその日の新聞朝刊を取り出し、一面から二面へ、二面から三面へと隅から隅まで読みました。新聞をゆつくり読み、疲れたら、窓の外を見るといった時間の使い方をできるのは、電車の旅ならではのものです。

夫婦で出かける旅ですが、私たちの場合は、それぞれ好きなことをやって楽しんでいきます。私が新聞を読んでいる間、妻は俳句雑誌を読んでいます。

直江津駅からは妙高4号に乗り換えました。この電車は特急型鈍行とでもいいかもしれません。旧国鉄の189系の特急車両でありながら各駅停車の普通電車なのです。座席にゆつたりと腰かけ、ゆつくりとした速度で車窓の景色を見ることができます。

新聞や本などを読んでいたんではもったいない。素敵な風景を見なければ損をします。田植えが始まったばかりの田園風景、南葉山、妙高山などの山々の姿が目前をゆつくり流れていきます。そして、野の花も観賞できるのです。

県境を越えると、ヤマザクラとヤマブキの花をあちこちに観ることができました。「いっぱい咲いているなあ」「きれいだなあ」と私が言うと、妻も一緒に眺めました。黄色いヤマブキの多さに感心した彼女は、「これだけあれば、認めてもらえるわね。認知度は高いんじゃない」と言っていました。

驚いたのは牟礼から豊野までの区間でした。線路から離れた、林地の裾野のあちこちにニリンソウの小さな花が咲いていたのです。ニリンソウはキンポウゲ科の多年草で、私の大好きな野の花のひとつです。雪にも耐え、雨にも耐え、花の開く時期は少しずれますが、いつもふたつの花をつけています。「あつ、あそこにも咲いている」「あれもニリンソウだ」群生を見つけたら私が出すものだから、妻も半ばあきれ顔で、「私にはよくわからない」とつぶやきました。

さて、長野市に着いてから。いつものように下調べをせずに歩くと、いろいろなものに出合います。善光寺の参道では相馬御風作のうたの石碑に、境内の一角では百姓一揆を顕彰した記念碑にも出合いました。そうそう、善光寺のすぐそばには東山魁夷館もあるんですね。初めて知りました。東山魁夷の絵をゆつくりと観賞してきました。月明かりの下で咲くしだけ桜を描いた「花明り」が強く印象に残りました。

わずか一日の小旅行。いろいろな発見があつても楽しい旅になりました。妻と一緒に過ごす時間、どうでもいいようなことも含めてゆつくりと話ができました。今度、時間を作って旅に出れるのはいつになるかわかりませんが、できれば、山形県に近い海辺の町へ出かけて見たい。もちろん、妻と一緒に。

今年こそは一口メロンを……



毎年、栽培してみようと思いつきながら、何もしないでまわったものがあります。一口メロンです。先日、農産物直売所、あるる畑へ行き、苗を2本購入してき

ました。今年こそは栽培して、実を生らせた。

一口メロンは、わが家でも10年ほど前まではたくさんとれていました。実は小さいものの、糖度が高くて、とてもおいしいメロンです。たくさんとれたといっても、栽培していたわけではありません。堆肥置き場に自然と芽が出て、蔓が伸び、時期になれば、食べきれないほどの実をならしていたのです。それが、タヌキなどに食べられてしまうようになり、収穫できなくなりました。畑に植えても食べられっぱなしのことが続いたことから、母も栽培を断念したままです。今年、タヌキ対策をちゃんとやり、ぜひ食べてみたいと思っています。

市内では昨年3月、「上越野菜」振興協議会が設立され、安塚・浦川原などで古くから栽培されてきた「ばななカボチャ」や頸城区の「仁野分（にのぶ）しょうが」「頸

城オクラ」など、絶滅寸前の野菜を含む13品目を「上越野菜」に認定しました。今年、2年目、上越地域での野菜生産を発展させたいものです。

古代米が人気です

最近、白米に古代米を入れて炊く家庭が増えてきました。これに伴い、上越市内でも吉川区などで古代米の生産が活発になってきています。



写真はあるる畑で販売されている古代米。左の

「古代赤米」は吉川区の生産組織「この指とまれ」が生産販売しているもの、右の「紫黒米」は同区代石の煤田利勝さんが生産、販売しているものです。いずれも250グラム入り、300円。ぜひ食べてみてください。

明日から18日まで岩手県釜石市などへ行ってきました

明日16日から3日間、党議員団の上野議員などとともに岩手県釜石市などへ行ってきました。米や味噌、日常生活用品などを持って仮設住宅などを訪れる予定です。